

1.2. 人口

(1) 総人口

ア 現在人口

本市の総人口は、平成 30 年 1 月 1 日時点で約 60.0 万人となっており、年齢 3 区分別の構成をみると、生産年齢人口が 64%と最も多く、老年人口が 23%、年少人口が 13%と続いています。

本市の年齢 3 区分別人口割合を全国、埼玉県と比較すると、本市の方が、年少人口、生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低くなっています。

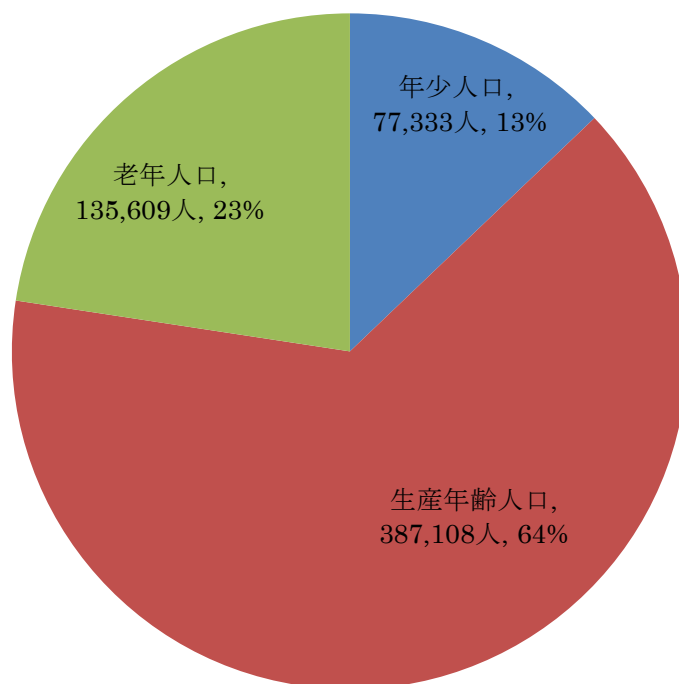


図 川口市の年齢 3 区分別人口（平成 30 年 1 月 1 日）

資料：かわぐちの人口

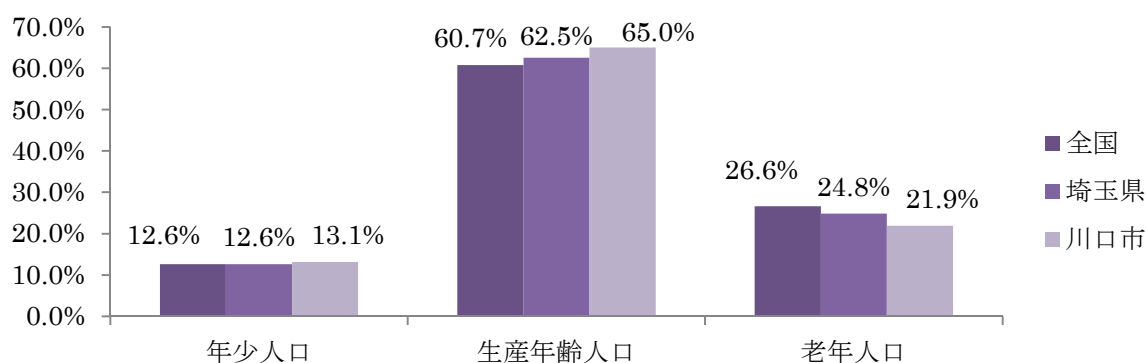


図 全国・埼玉県・川口市の年齢 3 区分別人口割合（平成 27 年 10 月 1 日）

資料：平成 27 年国勢調査

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| ○ 年少人口・・・0 歳以上 15 歳未満 | ○ 生産年齢人口・・・15 歳以上 65 歳未満 |
| ○ 老年人口・・・65 歳以上 | |

イ 人口の推移

本市の総人口及び世帯数は、過去一貫して増加傾向で推移しています。なお、平成24年の急激な人口の増加は、旧鳩ヶ谷市と平成23年10月に合併したことによります。

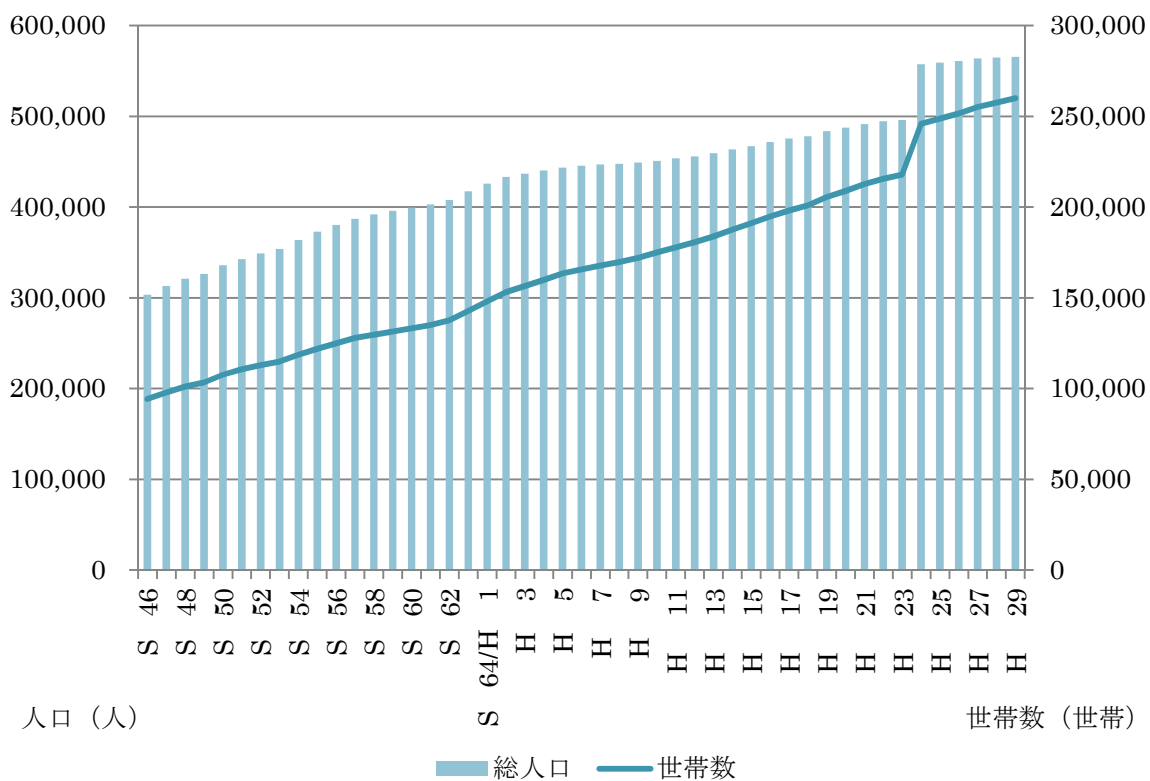


図 川口市の総人口・世帯数の推移

資料：川口市統計書（2017年5月）

ウ 将来人口の予測

本市の将来推計人口*では、平成 32 年には約 60.1 万人になると推計しています。それ以降は微減に転じ平成 52 年には 57.4 万人で平成 27 年比 2.5%程度の減となる見込みです。年齢別では、平成 52 年の人口は、25～49 歳の人口が平成 27 年比で 77.3%と最も大きく減少するのに対して、75 歳以上の人口は同 155.6%と最も大きく増加すると推計しています。

また、世帯数については、平成 27 年の 26.7 万世帯から増加を続けるものの、平成 42 年の 28.5 万世帯をピークに減少し、平成 52 年には 28.0 万世帯になると推計しています。

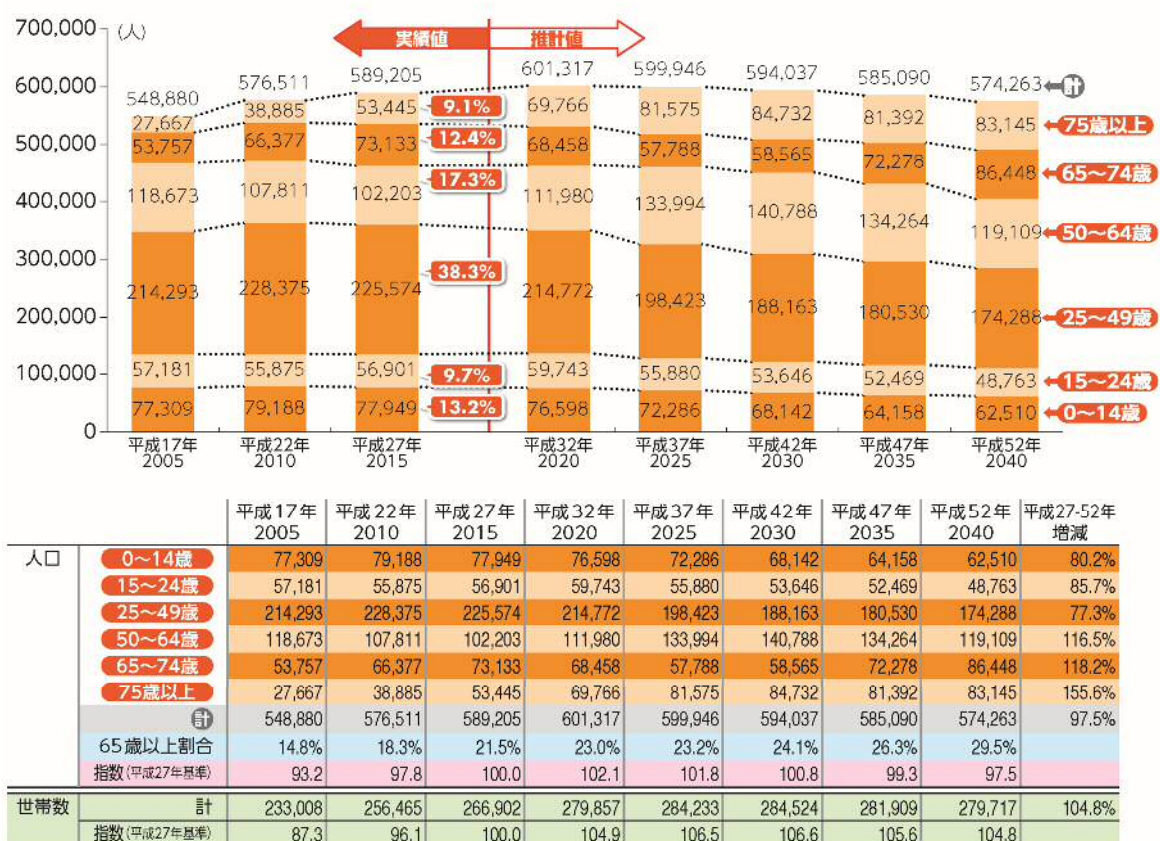


図 年齢別人口の推移（平成 32 年以降は予測 各年 1 月 1 日時点）

資料：第 5 次川口市総合計画

出典における平成 27 年の総人口の差異

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計・・・571,613 人
- 川口市住民基本台帳による実績値・・・589,205 人

※；平成 27 年 1 月 1 日時点の住民基本台帳を基本に、地域別の社会移動、及び子ども女性比（出生率の代替指標として）の傾向が続くと仮定した将来推計人口

(2) 地域別人口

ア 人口密度

平成 29 年における本市の人口密度は、全市では 93.6 人/ha となっています。

人口密度を市内の地域別にみると、JR 京浜東北線に沿った市の南部で高い傾向にあり、中央地域が最も高く 186.4 人/ha、横曽根地域 158.2 人/ha、青木地域 127.3 人/ha、芝地域 123.3 人/ha と続きます。一方、神根地域が最も低く 53.8 人/ha、新郷地域 59.1 人/ha、安行地域 65.5 人/ha と続きます。

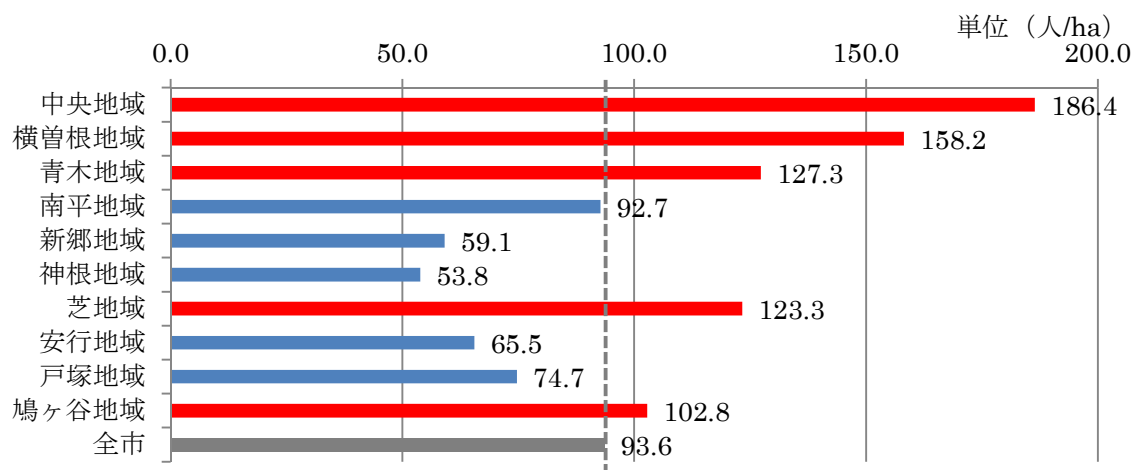


図 市内地域区分別人口密度 (平成 29 年 1 月 1 日時点)

資料：川口市統計 (町丁字別年齢別人口)

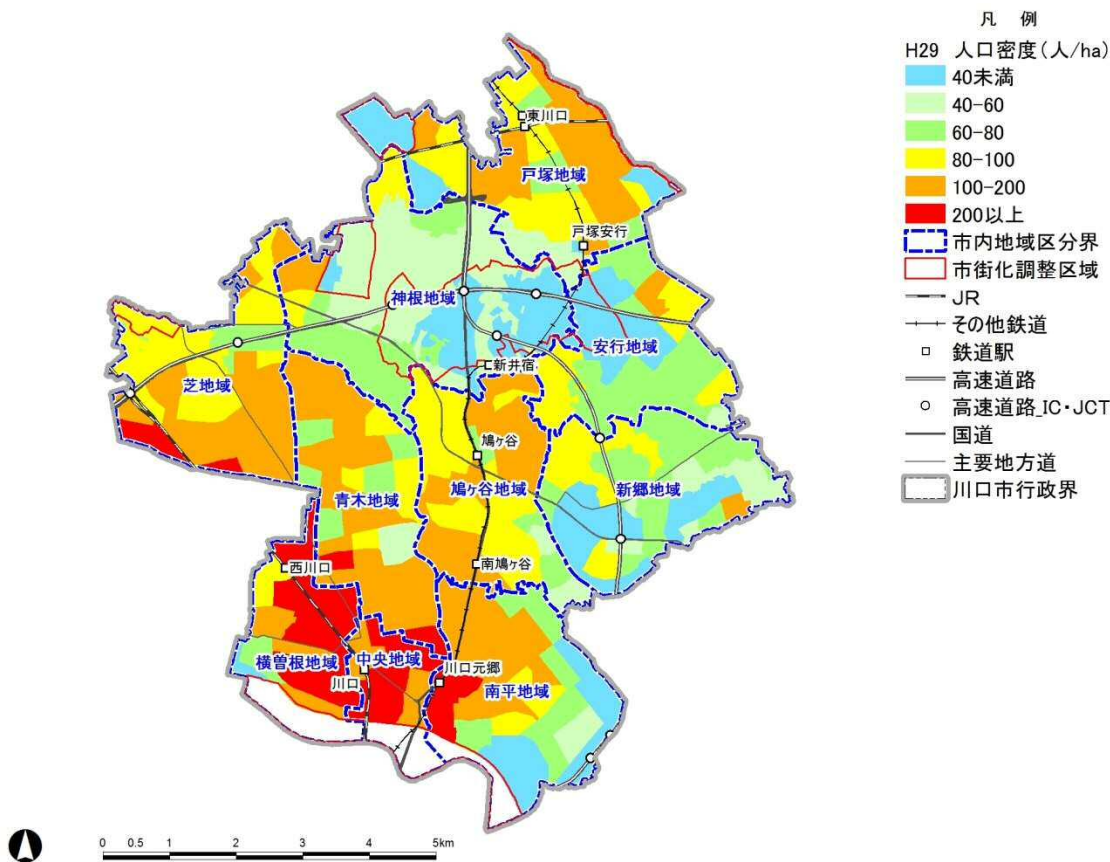


図 町丁字別人口密度 (平成 29 年 1 月 1 日時点)

資料：川口市統計 (町丁字別年齢別人口)

イ 人口増減

平成24年から平成29年の5年間ににおける人口増減率は、全市では2.85%の増加となっています。

この5年間の人口増減率を市内の地域別にみると、戸塚地域が6.47%と最も高く、安行地域6.44%、中央地域5.88%、横曽根地域5.43%と続きます。これらの地域では宅地開発等により住宅の供給が進んだことが伺えます。一方で、芝地域のみ増減率がマイナスとなっており、市内では相対的に社会増が少なく、自然減が多い地域となっていることが伺えます。

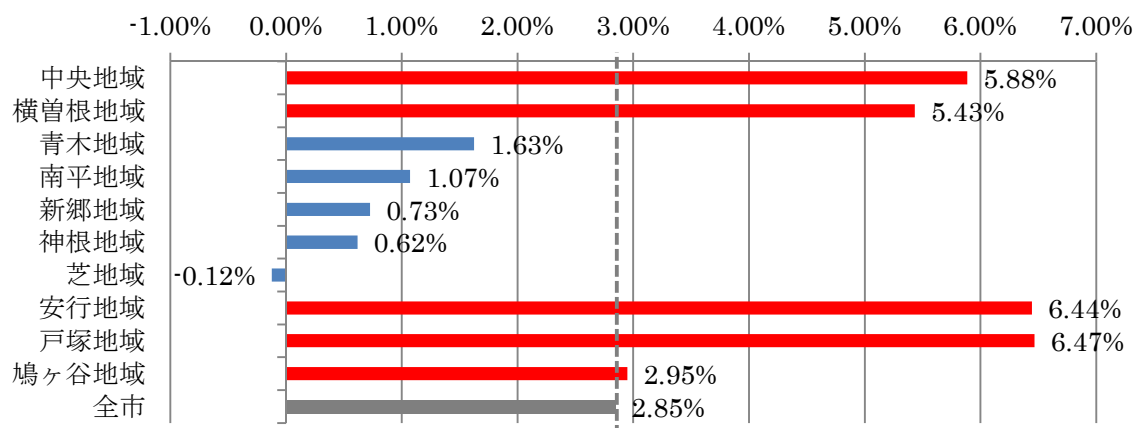


図 市内地域別人口増減率（平成24年から平成29年 各年1月1日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

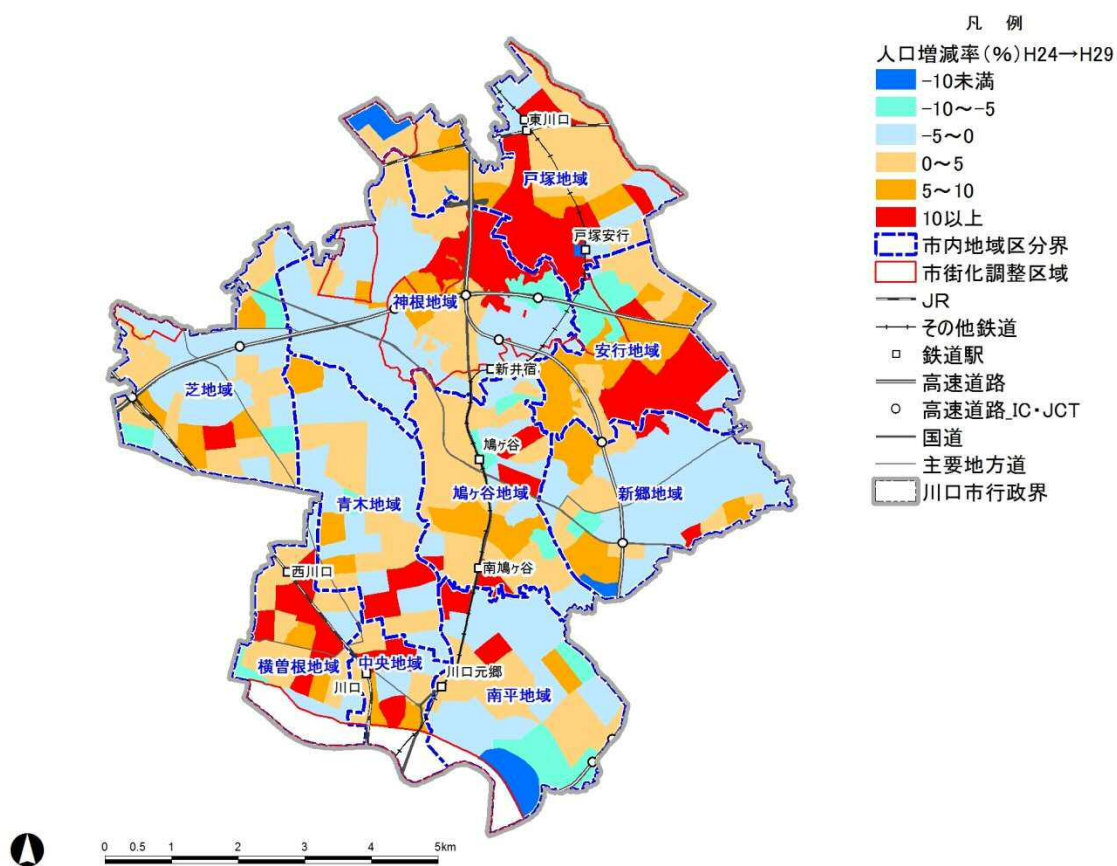


図 町丁字別人口増減率（平成24年から平成29年 各年1月1日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

ウ 高齢化率

平成 29 年における本市の高齢化率は、全市では 22.36% となっています。

高齢化率を市内の地域別にみると、新郷地域が最も高く 28.22%、神根地域 26.63%、芝地域 24.84%、鳩ヶ谷地域 24.22% と続き、人口増減率が市内で相対的に低い地域で、高齢化の進展が進んでいることがわかります。ただし、高齢化率が 30% 以上等、割合が高くなる地区は、市内では少数となっています。

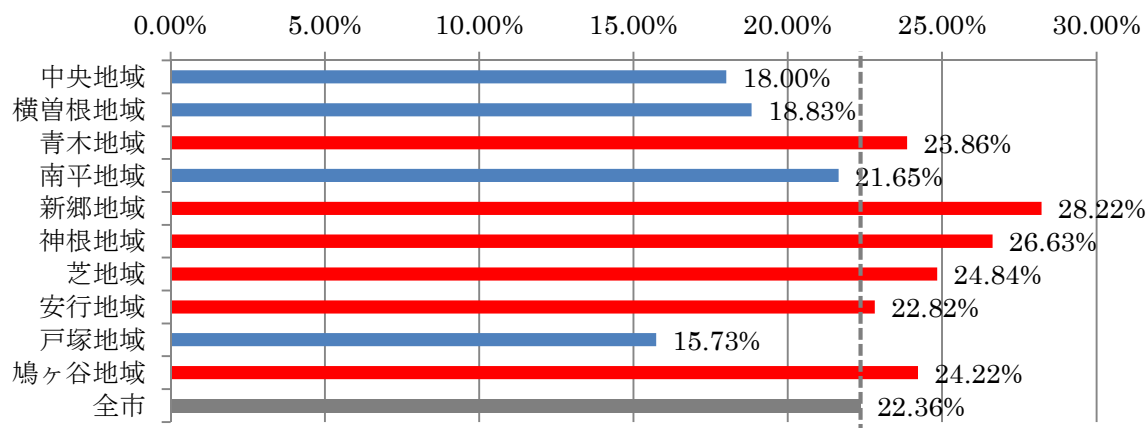


図 市内地域別高齢化率（平成 29 年 1 月 1 日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

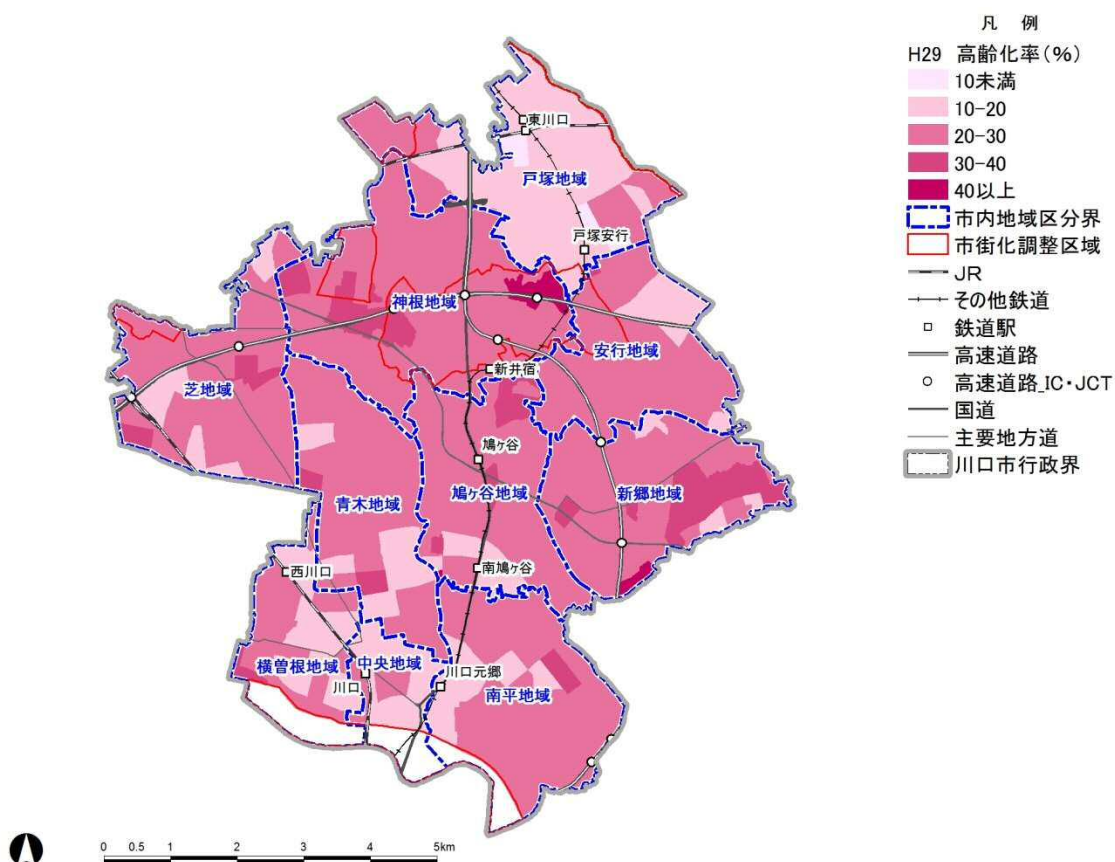


図 町丁字別高齢化率（平成 29 年 1 月 1 日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

エ 世帯平均人員

本市の世帯平均人員は、2.17 人となっており、最新の国勢調査の全国の世帯平均人員 2.49 人と比べると、世帯平均人員は、やや少ない傾向にあります。

市内の地区別に世帯平均人員をみると、西川口駅の周辺など、JR 京浜東北線の各駅を中心に市の南部に世帯平均人員が 2 人未満となる地区が偏っています。

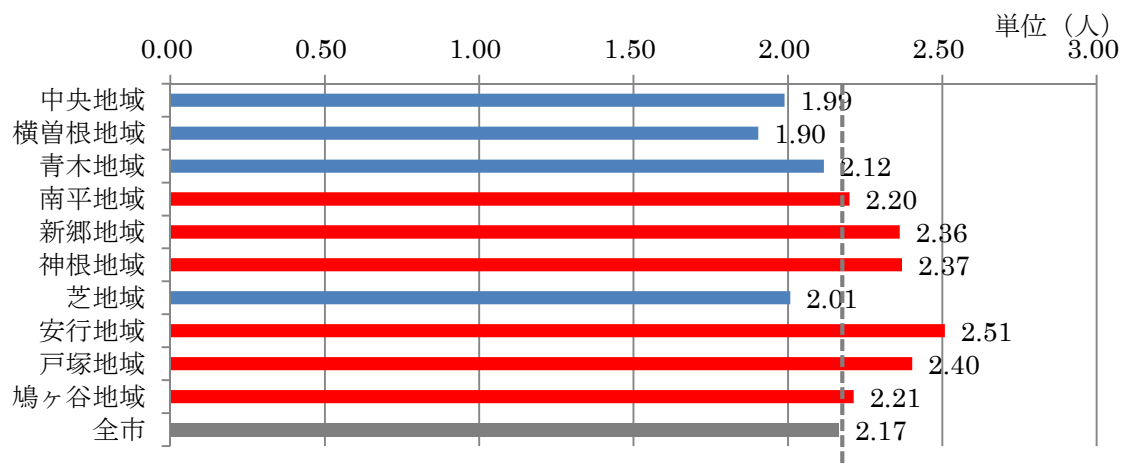


図 市内地域別世帯平均人員（平成 29 年 1 月 1 日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

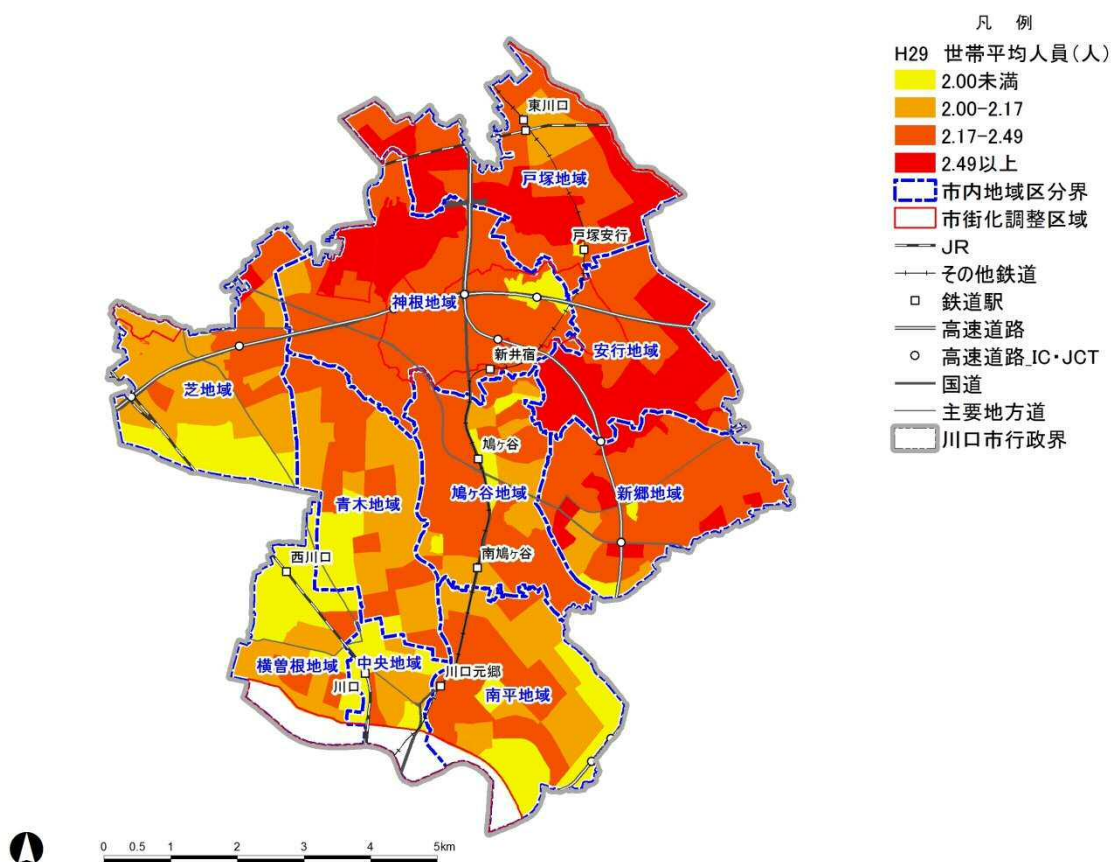


図 町丁字別世帯平均人員（平成 29 年 1 月 1 日時点）

資料：川口市統計（町丁字別年齢別人口）

オ 65 歳以上単身世帯

平成 29 年における本市の 65 歳以上単身世帯の割合は、全市では 8.16%となっています。

65 歳以上単身世帯の割合を市内の地域別にみると、芝地域が最も高く 10.16%、青木地域 9.33%、南平地域 8.81%と続きます。これらの割合が高い地域は、昭和 40 年当時から人口集中地区であった区域に偏る傾向にあります。一方、割合が低い地域をみると、戸塚地域 4.34%が最も低く、安行地域 5.90%、新郷地域 7.32%と続きます。

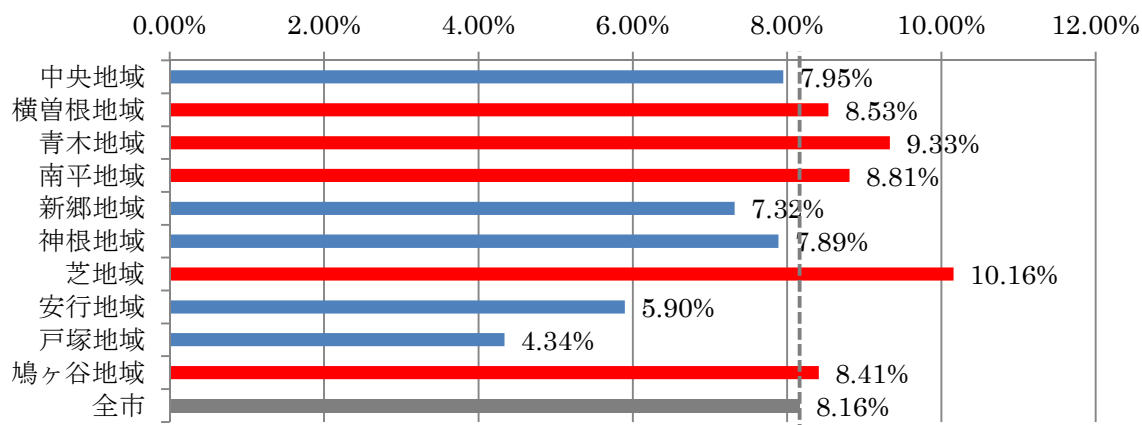


図 市内地域別 65 歳以上単身世帯割合

資料：平成 27 年国勢調査

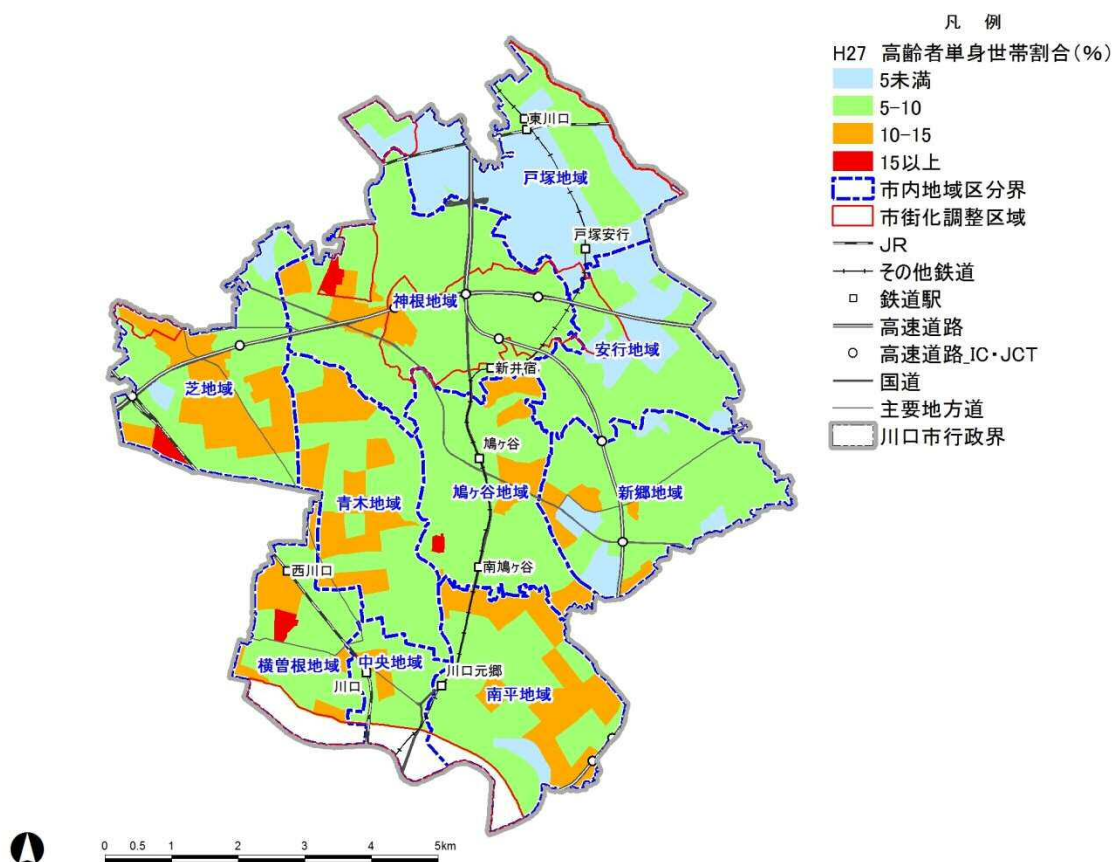


図 町丁字別 65 歳以上単身世帯割合

資料：平成 27 年国勢調査